

# 概念をあらわすことばの学習

## ～語彙習得を中心に～

言語・学習指導室  
葛西ことばのテーブル  
三好純太

# ★ 語彙とは何か

単語

文法

語彙とは

単語を文に組み立てるときのきまり

単語の集合・体系的な集まり

例： 色彩 アカ・アオ・キイロ・クロ・・・

階層 文房具—筆記用具—ボールペン

中学生の語彙

# 品詞分類

名詞

動詞

形容詞

副詞

助詞

接続詞

その他

# 語彙能力の評価

## ● 品詞別

\* 事物名称→動詞→形容詞

## ● 抽象度

\* カテゴリーー概念（動物・野菜etc）      \* 色名

\* 漢語理解（「成功」「完了」etc）

## ● 理解・表出

\* 日常コミュニケーションでの運用

成人日本語話者で理解語彙は4～5万語、使用語彙は1～2万語

# 語彙能力の評価

## ■ 評価バッテリー

ITPA言語学習能力診断検査

絵画語彙発達検査(PVT)

S-S法 言語発達遅滞検査

ウェクスラー式知能検査 他



+ 独自作成の検査で、評価している

反意語／上位カテゴリー語／位置語 など

# 言語習得における語彙の発達

# ●コミュニケーション関係の発達 【幼児期】

10ヶ月

1才

1才半

2才

4才

5才

象徴遊び  
の出現

始語  
表出

2語文  
表出

多語文  
表出

可逆文理解

★喃語活発化

語彙の  
爆発的増加

★構音完成

# ● 語彙の発達

	● 習得語彙数(表出)	● 習得語彙の特徴
1才半	50語	事物名称が中心 幼児語が多い 半記号的
2才	200~300語	述語(動詞・形容詞) の増加
4才	1000語	抽象語の増加



# ● 語彙発達の特徴～初期50語まで～

- 獲得の速度がゆっくり
- 消失語が多く、定着度が低い
- 語の過大般用が多い
- 事物名称が中心
- 最初期は、大人との社会相互作用に密着したことばが多い(挨拶など)
- 理解と産生の間には、およそ半年の差  
(理解の裾野の必要性)

半記号的  
性質

# ●コミュニケーション関係の発達 【幼児期】

10ヶ月

1才

1才半

2才

4才

5才

象徴遊び  
の出現

始語  
表出

2語文  
表出

多語文  
表出

可逆文理解

★喃語活発化

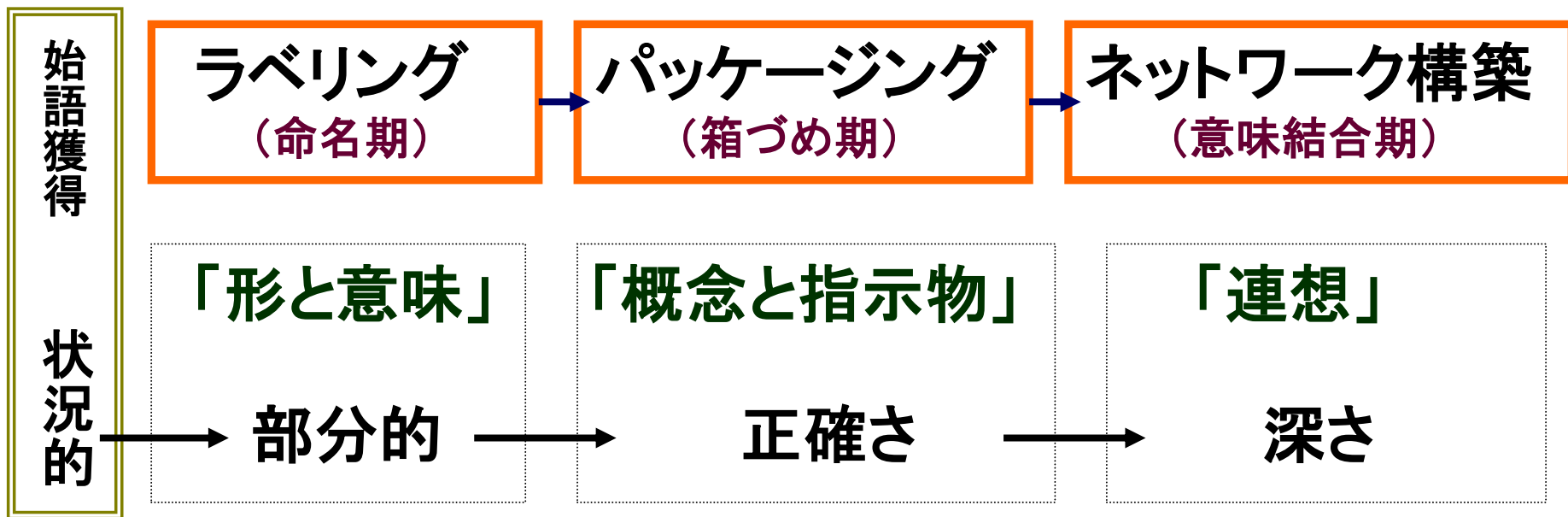
語彙の  
爆発的増加

★構音完成

# ● 語彙発達の特徴～50語以降～

- 50語を境として、語彙は急速に増大
  - ・命名の洞察
  - ・語の使用範囲の限定
- 50～100語産生で、2語文に移行
- 200語以降、動詞・形容詞などの述語が増加
- その後、徐々に助詞・助動詞などの機能語、抽象名詞が増加

# ★ 語彙習得の過程 (Aitchsonの3過程)



ことばの関係式化を進めよう

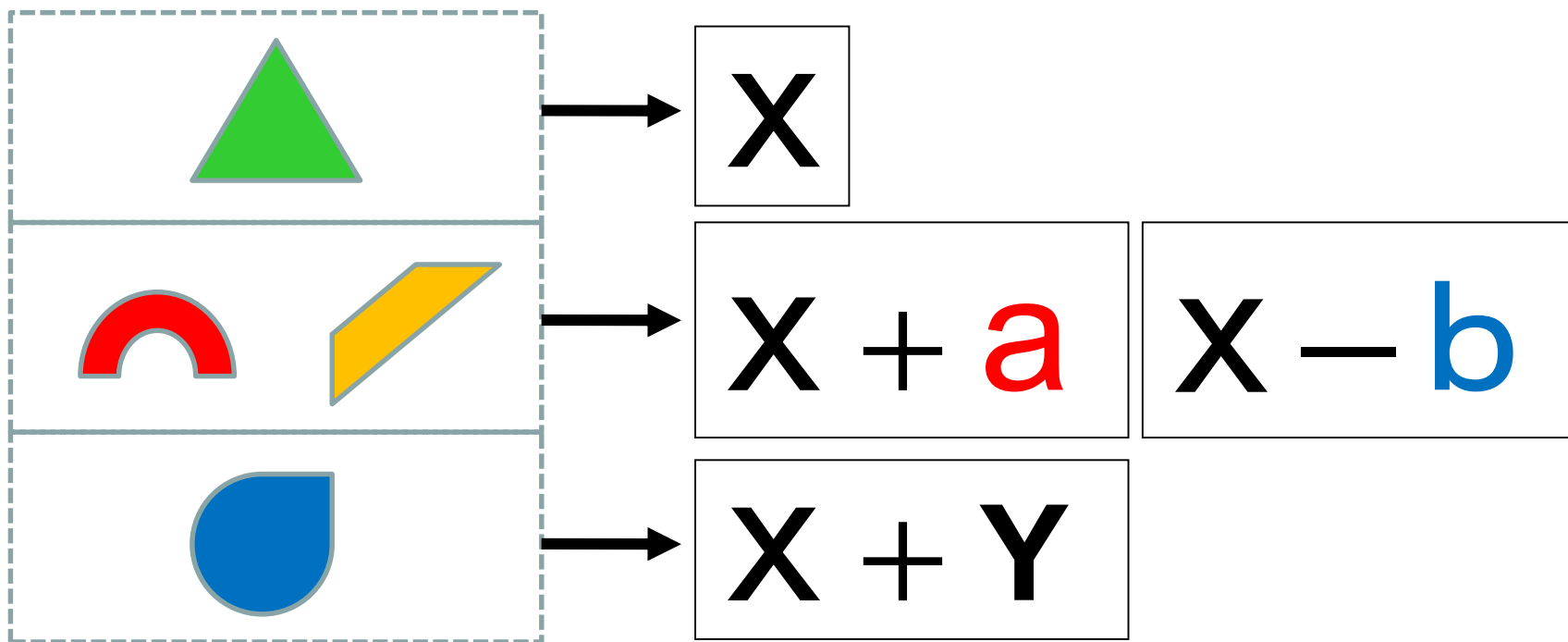
関係式化

=ことばと ことばの関係づけ

# ことばの関係式化を進めよう

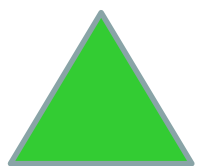
ことばを「モノ」から

「コト」にして行く



# なぜ関係式化を進めなければならないか

1:1対応の暗記的習得では記憶容量に限界



モノ＝  
図像的

→ 重い

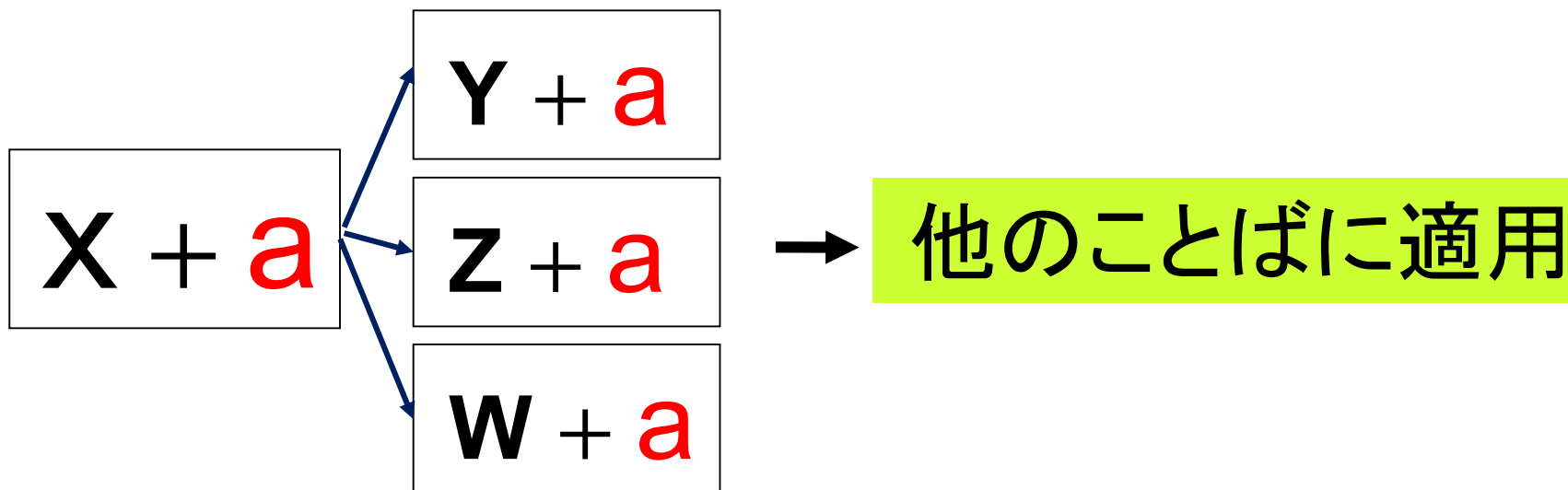
$X + a$

コト＝  
关系的

→ 軽い

なぜ関係式化を進めなければならないか

関係性洞察の蓄積が自然習得を進める





# ことばの関係式化

● 文法の関係式化

● 音韻の関係式化

● 意味の関係式化

日常コミュニケーションの中で、  
無意識に関係性が  
洞察されて行く

# ●文法の関係式化

## 動詞の語尾活用

行く

五段活用

→行かない

→行きます

→行く

→行けば

→行こう

# ●音韻の関係式化

## 複合語の音韻変化

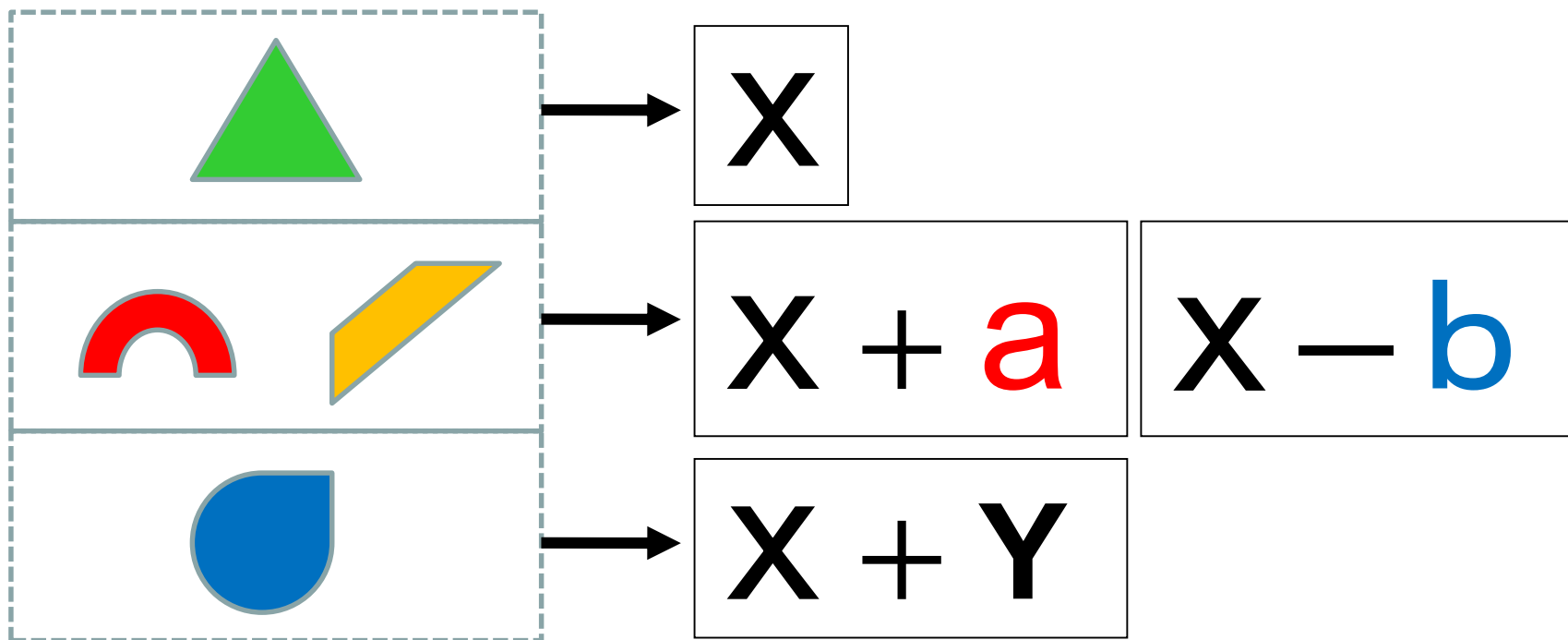
うで+とけい →うで**ど**けい

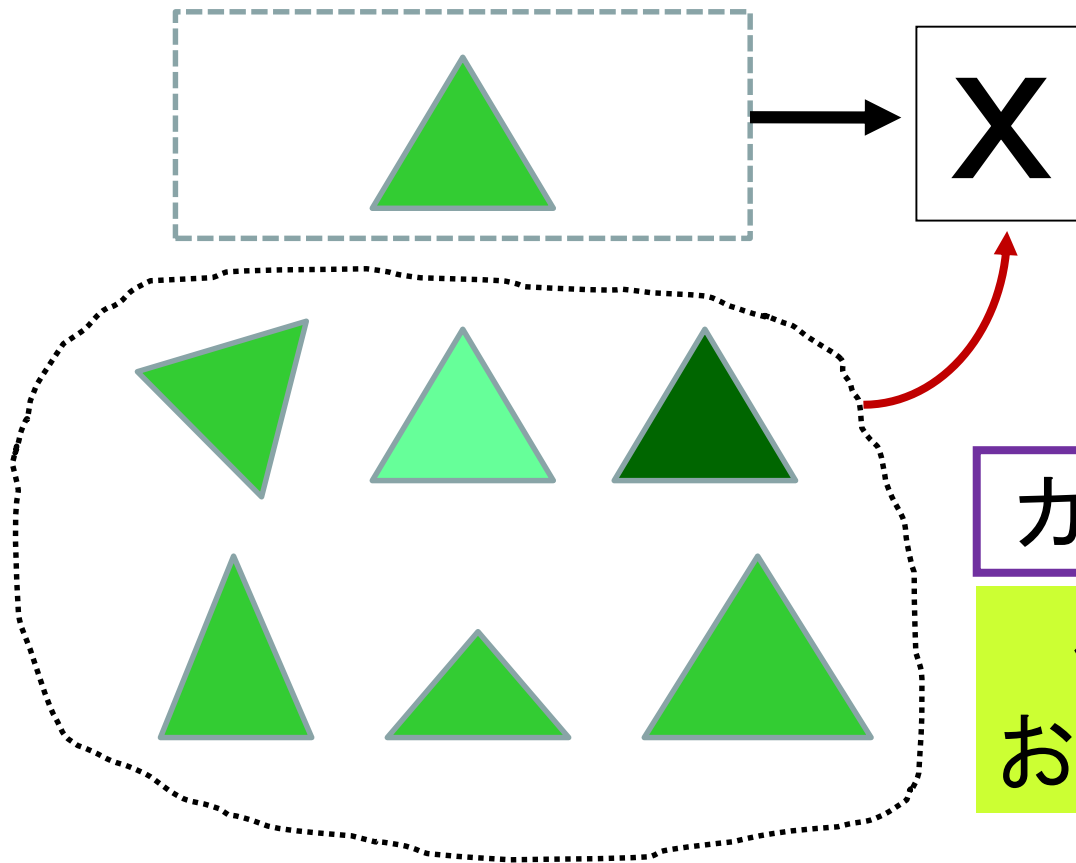
こうもり+かさ →こうもり**が**さ

つり+はし →つり**ば**し

\* 無声語頭音の有声音化

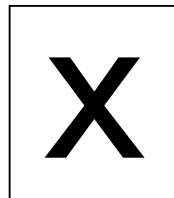
# ●意味の関係式化





カテゴリー知覚

例：日本語に  
おける音韻知覚



プロトタイプ

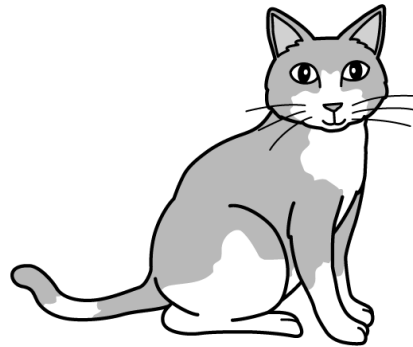
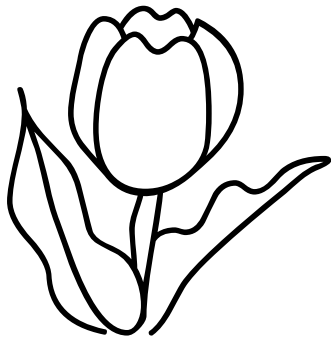
# プロトタイプ

prototype

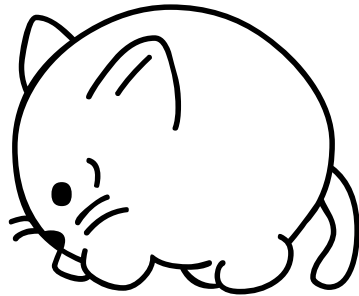
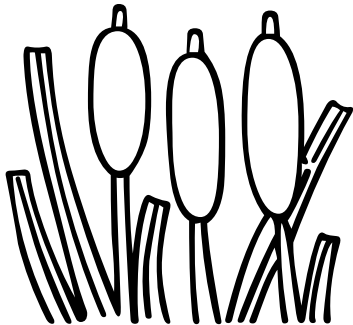
事物や事柄の典型

～らしさ

# プロトタイプ



~らしい



~らしくない



# プロトタイプを形成する

→ 典型を形成する

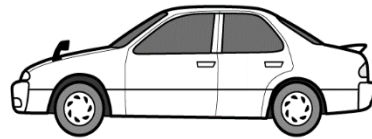
● プロトタイプを決める因子とされるもの

- \* 知覚的顕著さ
- \* 親しみ度
- \* 頻度
- \* 機能的顕著さ
- \* 文化的意義 など

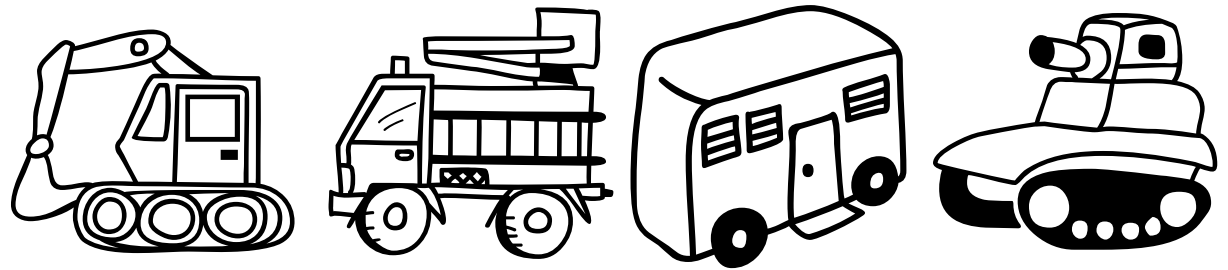
# 事物名称におけるプロトタイプ

車

典型例

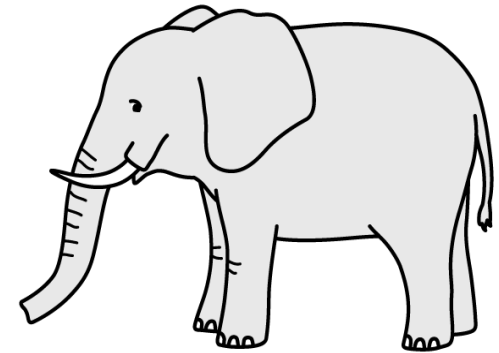


非典型例



# 代表作用

その物の特徴の中から  
何を代表とするか



! 鼻が長い

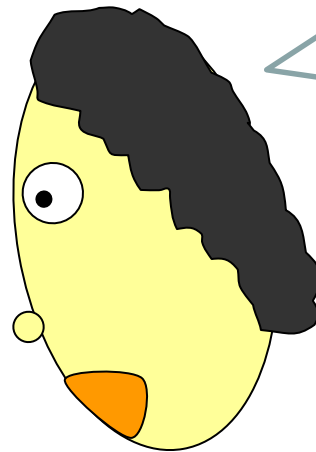
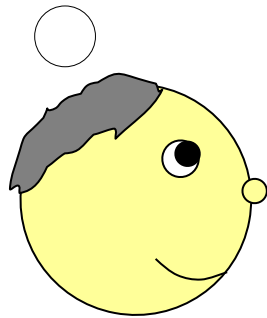
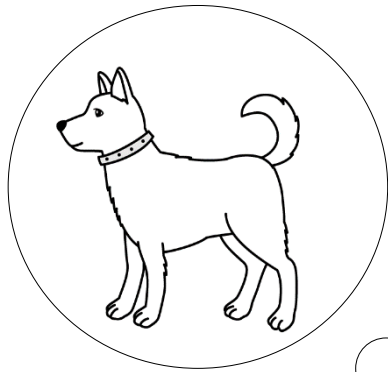
イメージ

言語習得の初期に  
おいては、**形態の  
特徴**の抽出が重要

概念の形成

# ●イメージ能力の大切さ

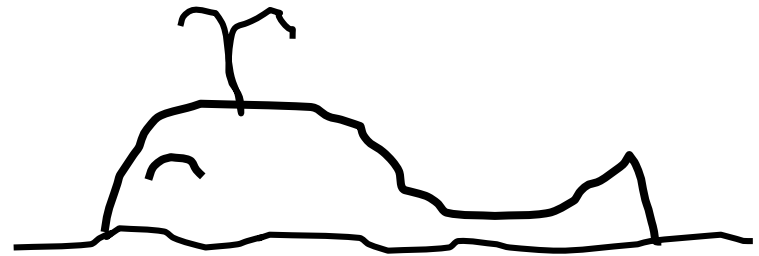
眼前にないモノ・コトを想起する



ワンワン、  
いたね！

# 名称習得における 表現活動の重要性

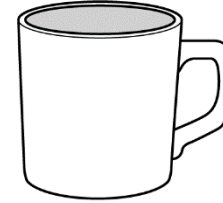
クジラの絵  
を描いて



- さまざまな表現＝作品の鑑賞を通してプロトタイプを作る
  - ➔ 表現の産生 \* 自由さと規範

# \* 絵カードの作成

プロトタイプを描く



★ 100人全員が「コップ」と答える



絵カードがわかる

共有するプロトタイプが  
できている

絵カードで学ぶ

実物を記号化するプロ  
セス \* 抽象化 = 典型化

絵カードで学ぶ



絵カードを学ぶ

絵は、実物とことばを結ぶプロセス

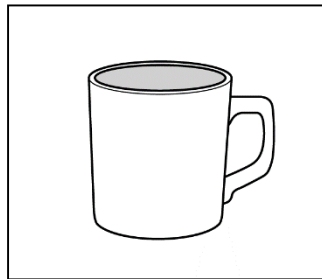
実物



抽象化



絵



ことば

Koppu

★絵カード作成・選択の大切さ

# プロトタイプ未形成と判断される状況

- 名称が、特定の事物や絵カードとのみ対応

自分の家のダックスフンドだけを「ワンワン」だと思っている

- 名称の過大使用・過小使用

ゾウを見ても「ワンワン」と言う



# プロトタイプの 評価と学習

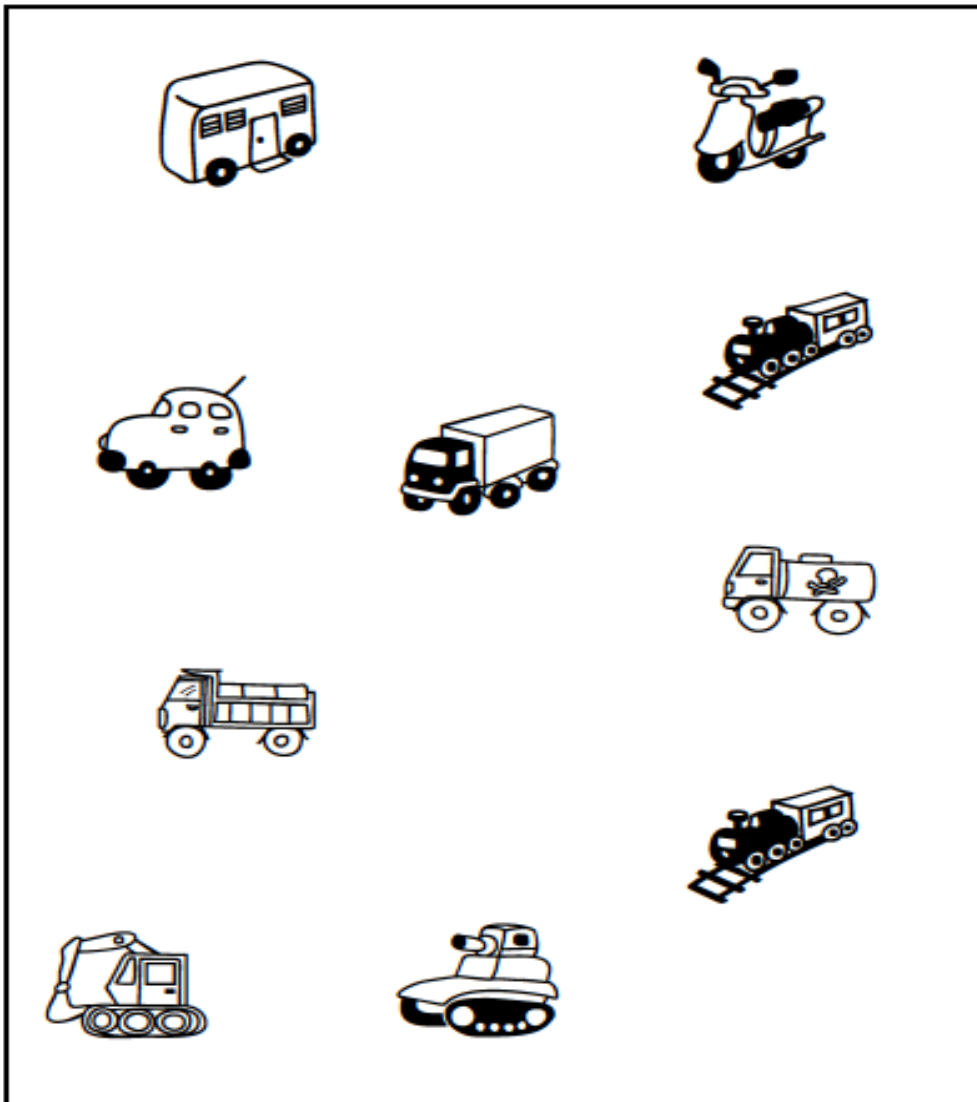
## 同名称抽出

### ●トラックらしさ の感知



どれかな®：トラック

( 月 日 )



ぜんいすで ( )



# プロトタイプの 評価と学習

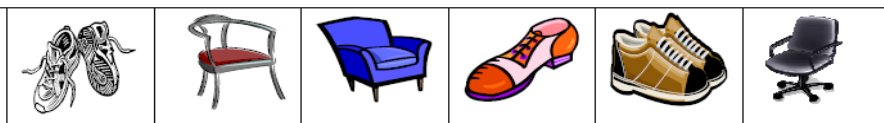
## 同名称分類

### ● 名称への気づき

基礎カテゴリー

どっちの なかまかな？ 1



ことばのテーブル

# プロトタイプ形成の意義

## 名づける対象を明確化

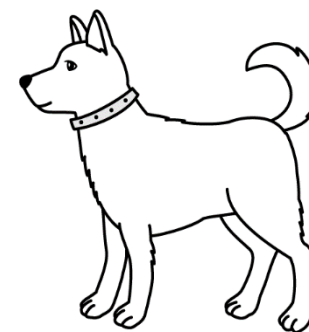
少ない容量で  
情報を処理する

\* 曖昧さの除去

図像から Xへ

記号化

これが、  
イヌだ！



→ 言語習得を推進する

# プロトタイプ形成の意義



認識の高度化を進める



ことばの精緻化・  
ネットワーク化を進める

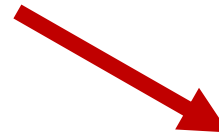
プロトタイプ形成

ことばの獲得



ちよつと  
ちがうな

★非典型の気づきと理解



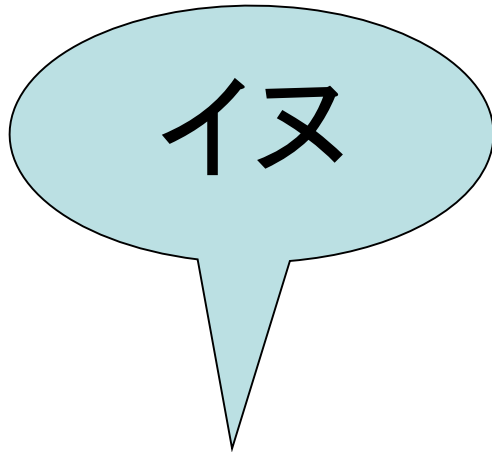
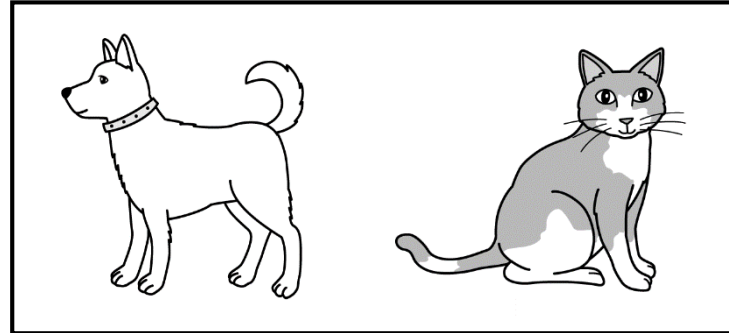
新しい語彙の獲得

新しい概念の形成

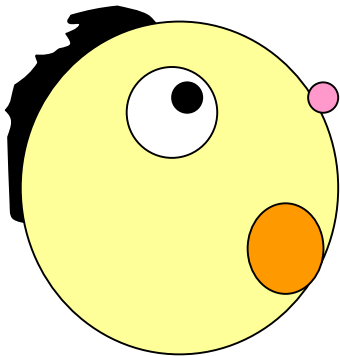
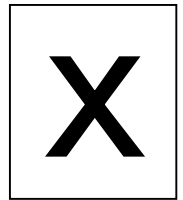
概念の階層化の進展

# 新しい語彙の獲得

# 「ネコ」の場合

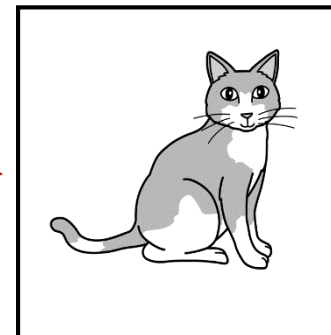
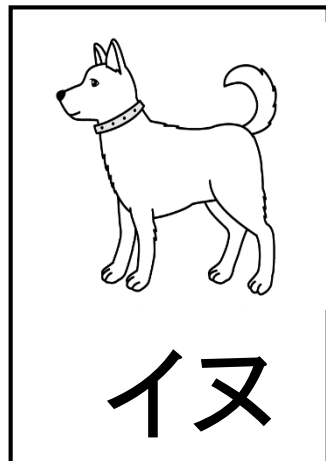


イヌの  
プロトタイプ

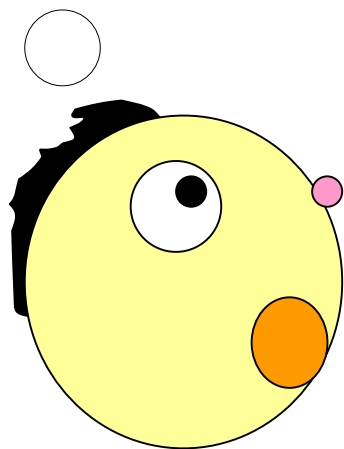


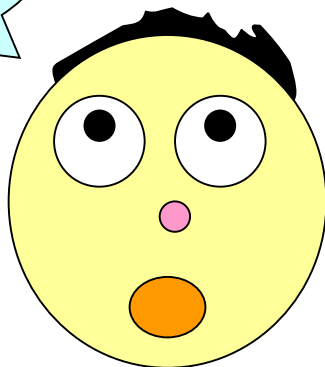
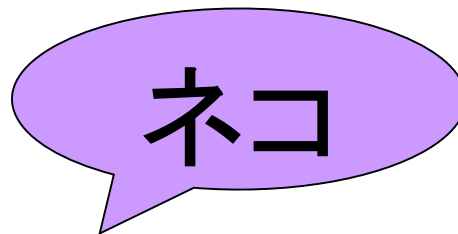
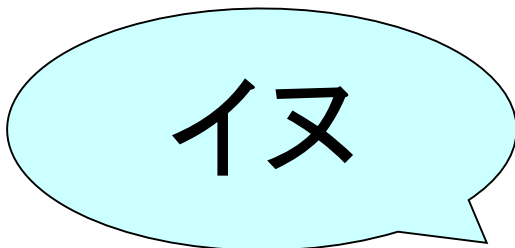
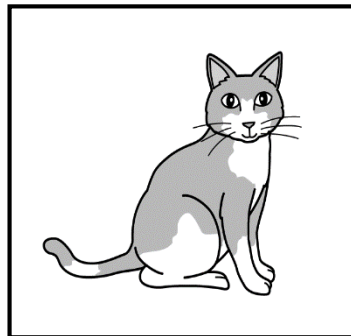
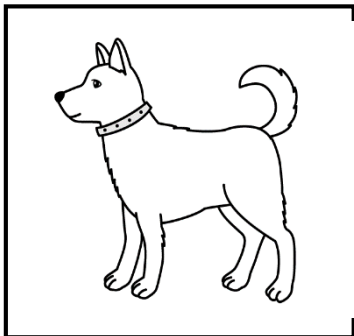
# 新しい語彙の獲得

あれ？  
ちょっとちがうぞ

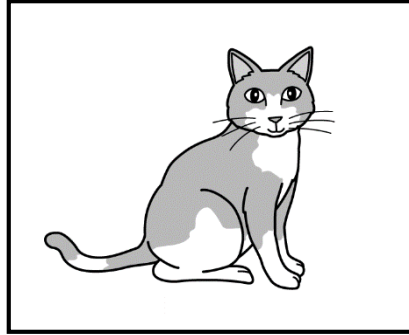


イヌから  
派生









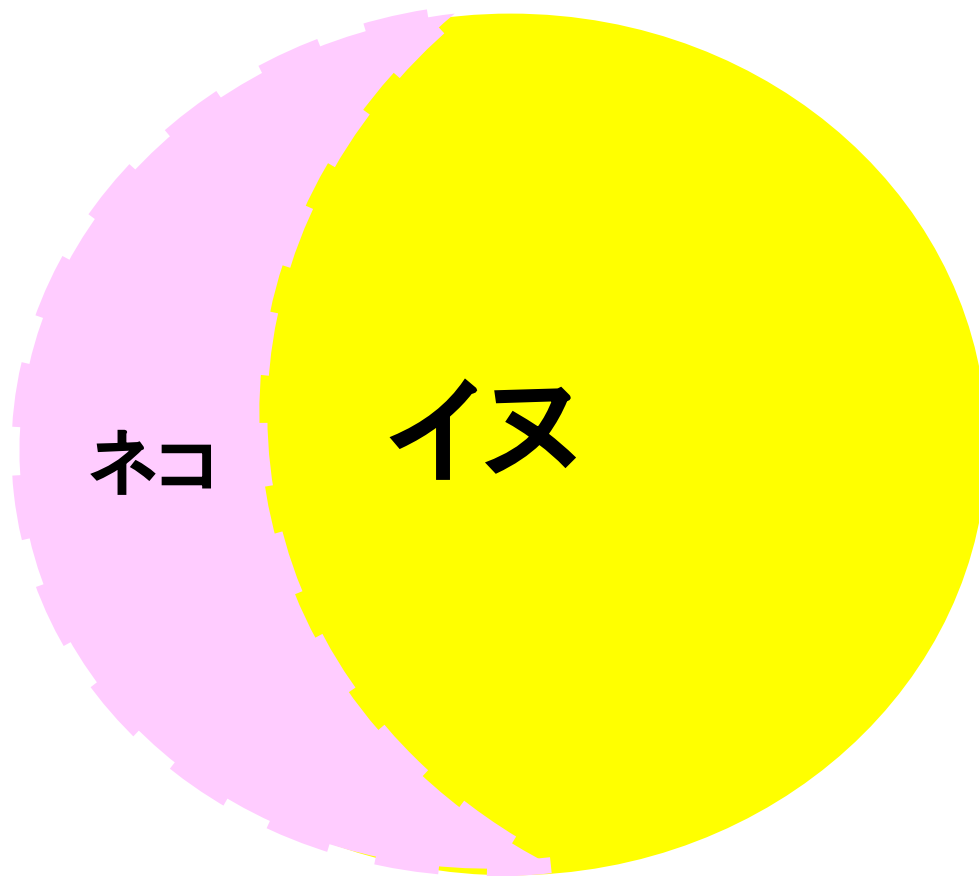
これは、ネコ

イヌではない

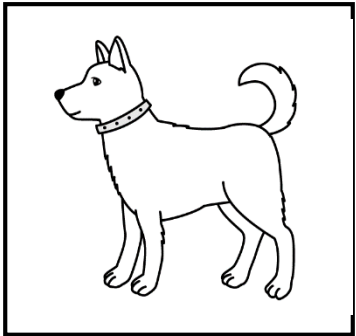
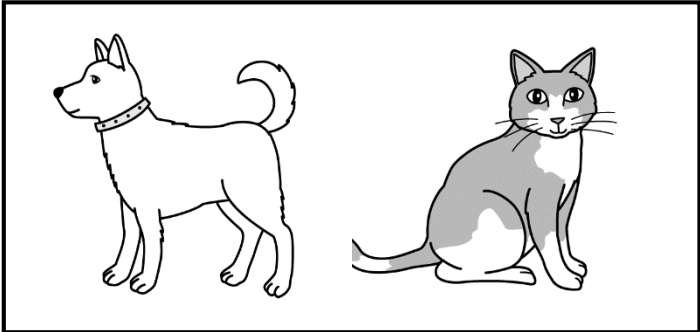
イヌの部分否定

ことばの地図

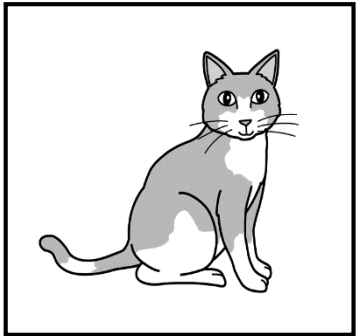
イヌ



**X**



**X-a**



**a**

# イヌの属性:「ネコ」習得前後の変化

足が4本  
鳴く  
しっぽがある  
動物



足が4本  
ワンワン鳴く  
しっぽがある  
動物  
顔が細長い

ネコを覚えることによって  
イヌの理解が精密化

未知のことばを覚える意義



既知のことばが変わる(精緻化する)

より正確な、「イヌ」  
の概念が形成

プロトタイプ成熟

★一般性の高い  
知識への変化

常識

赤いもの

×アメ

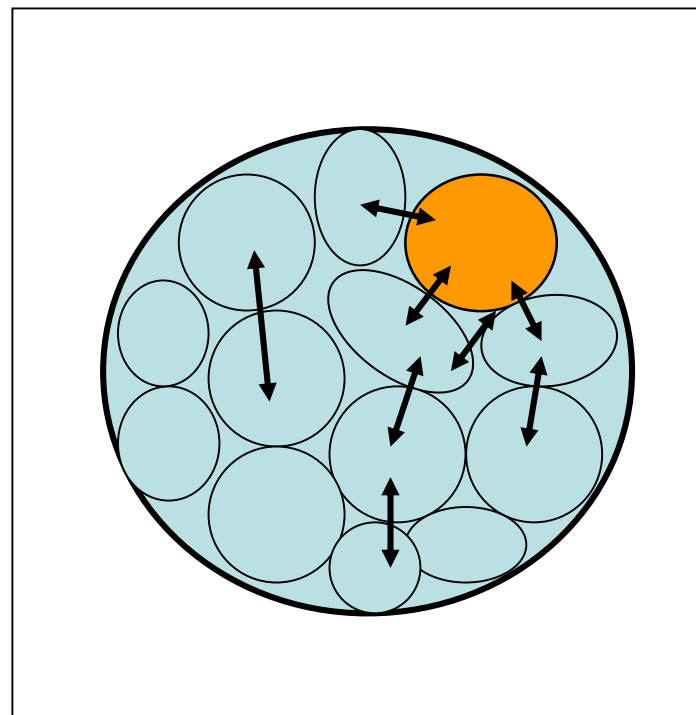
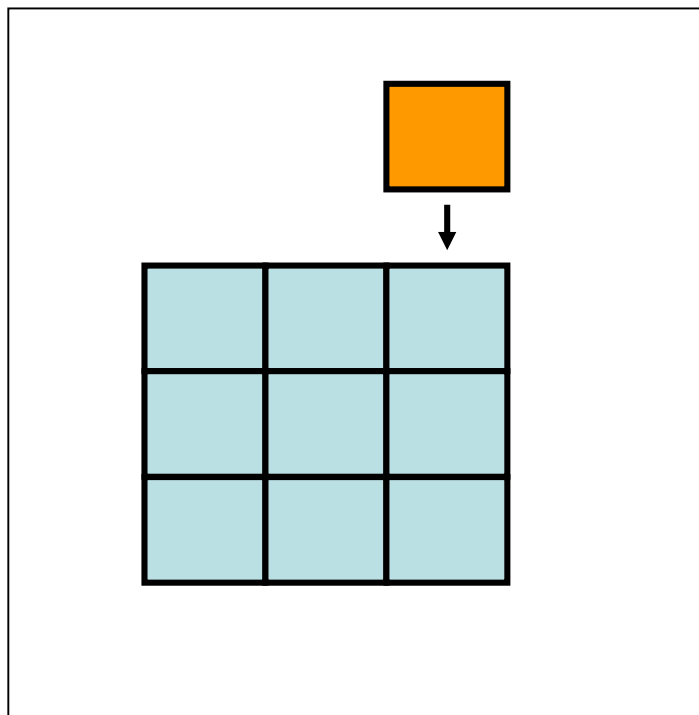
○リンゴ

ひとつの言葉を得ることは、  
それまで作り上げてきた言葉の  
世界全体を塗り変える

# 新しいことばの習得

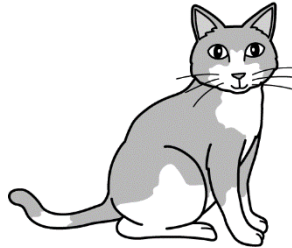
頭の中のことばの地図

(レキシコン)



**+1 ではなく、地図がまったく新しく上書きされる**

# 「イヌ」「ネコ」関係

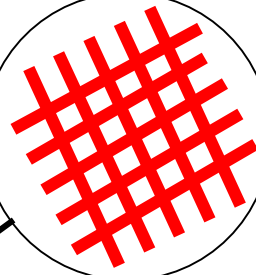


イヌ

ネコ

関係性の獲得

大切なのは、覚えた  
た単語ではなく、これ  
から単語を獲って行く  
ための網(関係性)

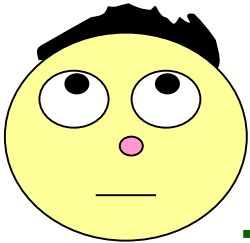
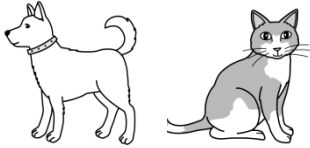




# 関係性獲得の意義

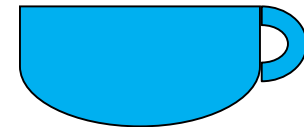
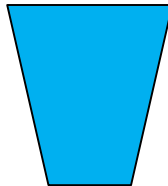


## 他の概念形成への寄与



おなじようなものでも、いろいろなものがあるんだなあ..

★「コップ」と「カップ」のちがいに注目  
細長いのが「コップ」で、広くて浅いのが「カップ」

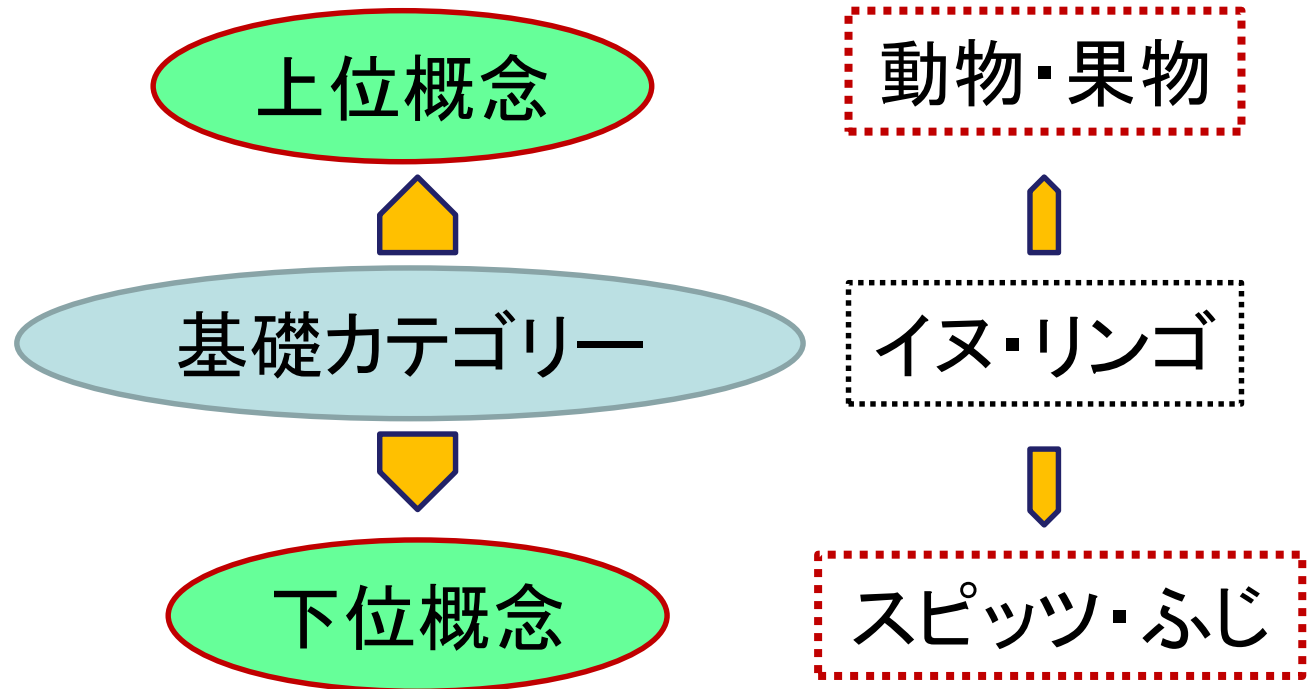


ほかのことば(概念)の精密化への応用

語彙の増加 = 新しい概念の形成

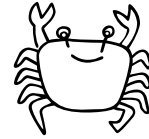


## 概念の階層化の進展

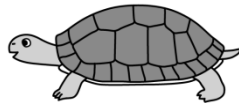
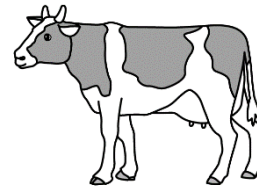
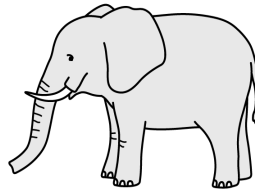


# カテゴリー概念の階層

生物



動物



イヌ(基礎カテゴリー)

# カテゴリー概念のいろいろ

動物

乗り物

赤いもの

文房具

履きもの

野菜

危険な行為

# カテゴリー概念の形成順序

特徴的分類から、

定義的分類へ進む

動物

乗り物

文房具



# カテゴリー概念の形成①

動物



特徴的分類

形の類似性

\* 形状バイアス

こどもは、まず形で仲間わけをする

# カテゴリー概念

# 動物

イヌ  
ネコ  
ゾウ

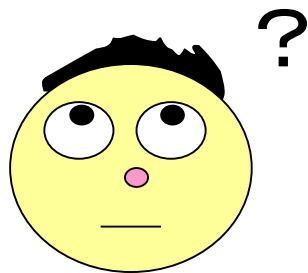
非典型的の発見

語彙の増加

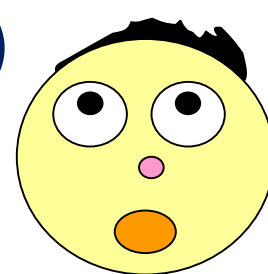
イヌ・ネコ・ゾウ・サル  
ブタ・ウマ・ライオン  
etc...

★ 共通な形態・属性  
などの抽出が進む

動物



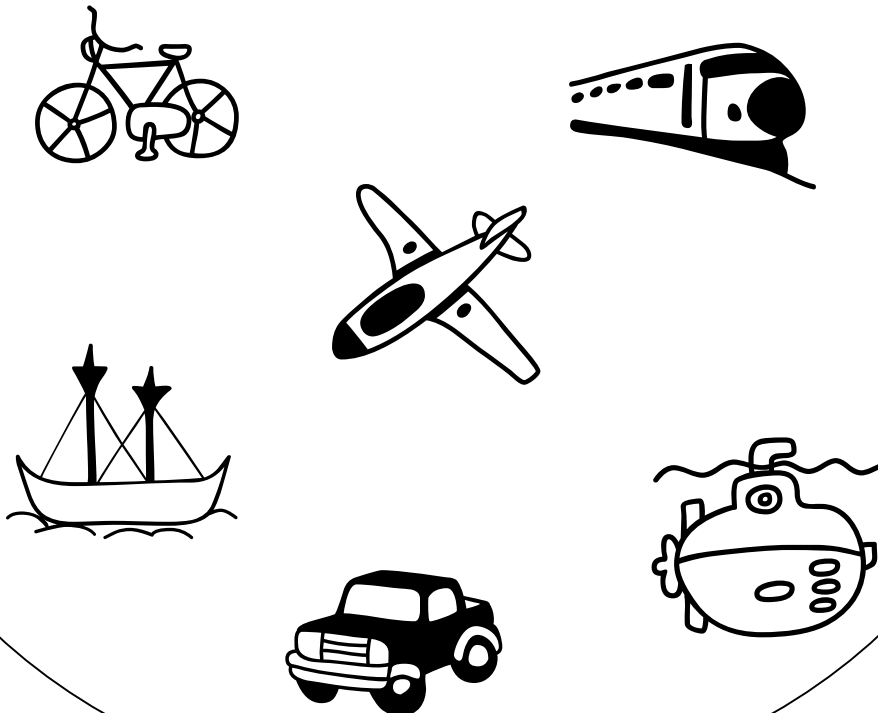
動物



こういうのが動物か...

# カテゴリー概念の形成②

乗り物



\* 形状は多様

形の類似性から

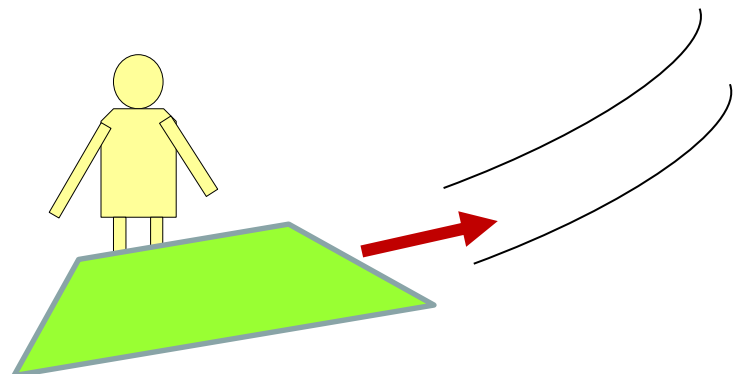
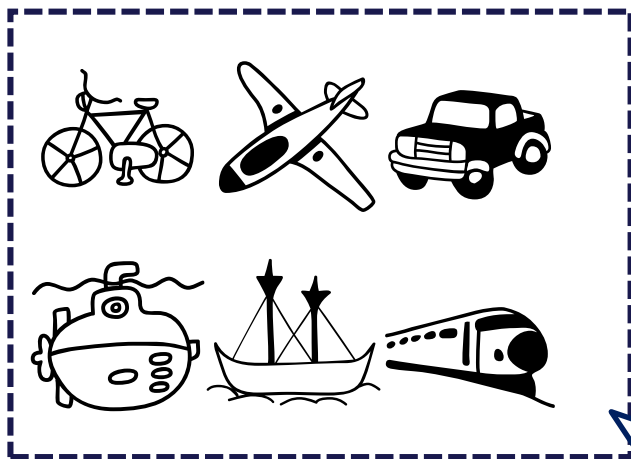


定義の  
共通性へ

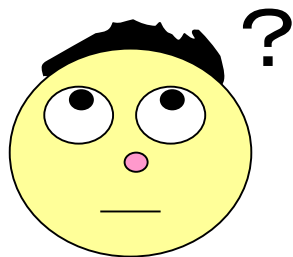


# カテゴリー概念

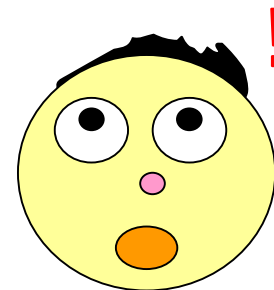
# 乗物



乗物



形はいろいろ..  
みんな「のりもの」?



あ、乗ってどこかに  
行くものだ!

# より定義的分類へ

楽器

機能的分類

はくもの

動作的分類

赤いもの

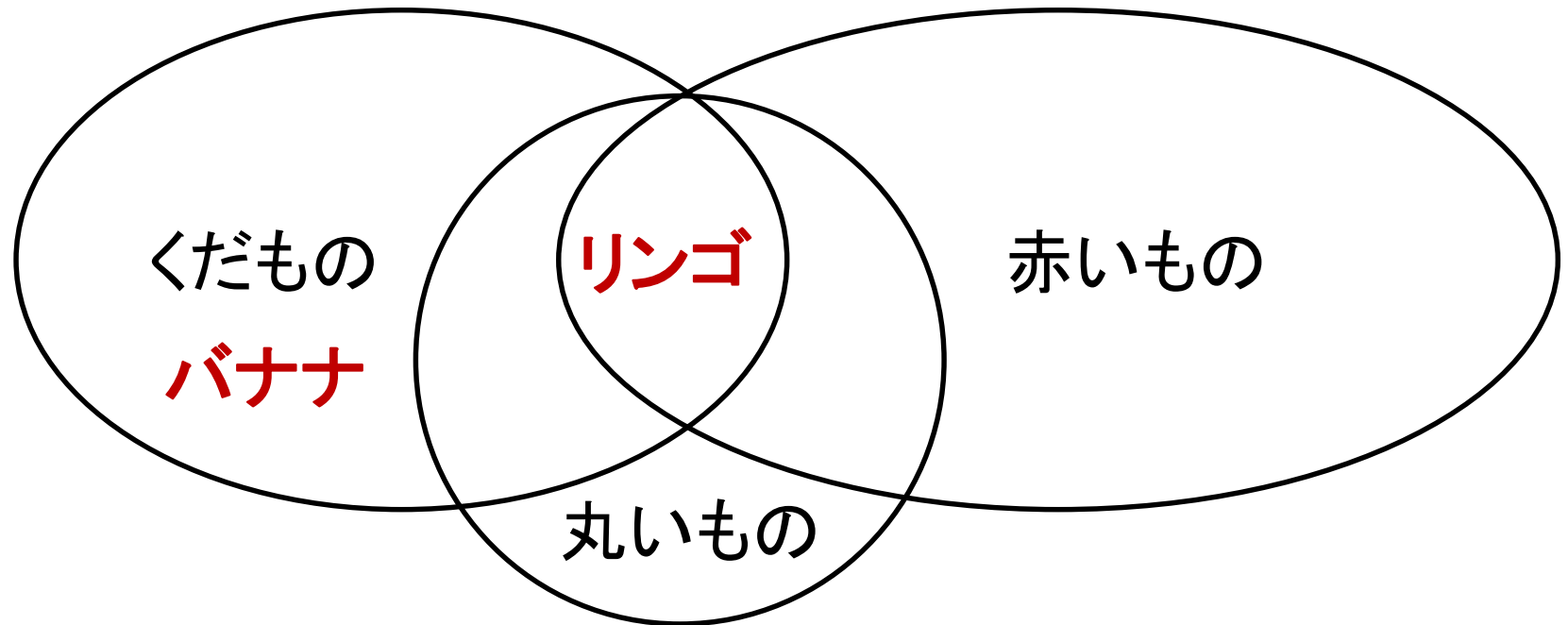
属性的分類

楽しいこと

心理的分類

# カテゴリー概念と ことばの関係式

## ●スピッツ<イヌ<動物<生物



## ●バナナ≡くだものー赤いー丸い

# ことばと ことばの関係の洞察

# 動詞や形容詞の習得

## ◎事物名詞

=即時マッピング(1回の経験で覚えられる)

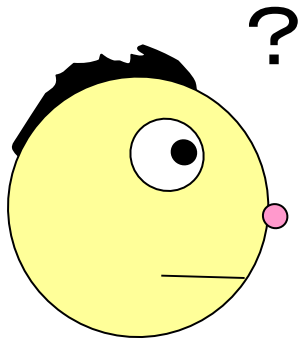
## ◎動詞・形容詞・文法(助詞・動詞活用)は困難



経験の積み重ねから、類推して習得  
(パターンの蓄積)

# 形容詞や動詞の特質

● 習得のためには、類推・比較能力が必要



おおきい

せまい

たべる

つく

相違点・類似点の抽出



ことばと、ことばの関係式を、  
複雑化して行かなければならない

# 共通性の洞察

## なかまわけ課題

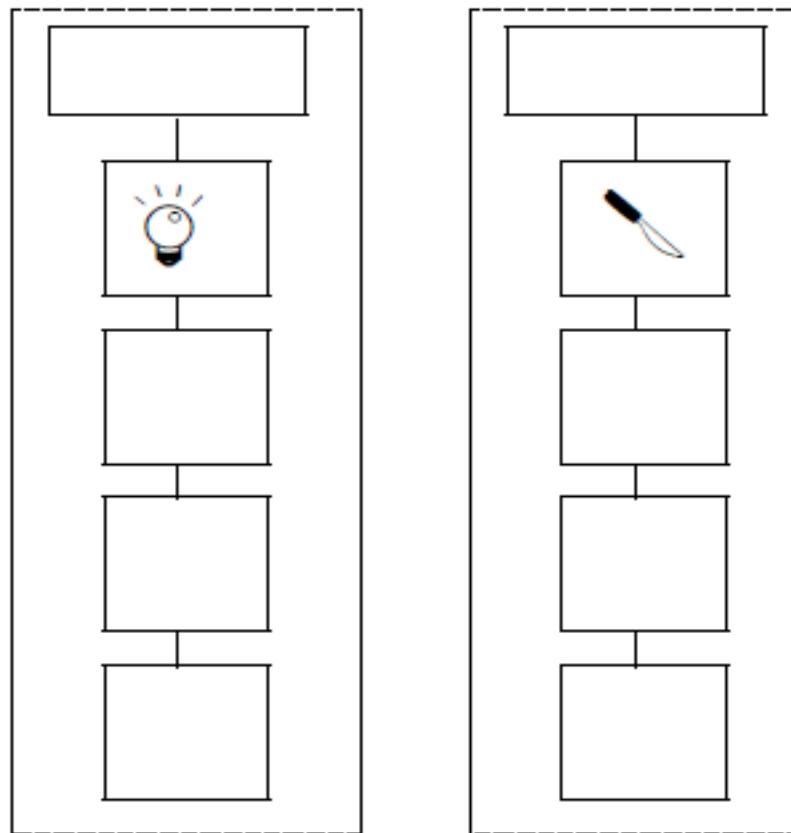
光るもの

切るもの



機能や性質  
によって分類

どっちの なかまかな? 13



ことばのテーブル

# 対概念課題

なかまを くっつけよう6





# ことばの意味の類推を促すもの

## ● 文脈の手がかり

- \* 既知のものに対して、言われたことば



「りんご」のこと  
じゃないな・・・

## ● 文法の手がかり

- \* 各品詞らしさ
- \* 文中の位置

- ・ 形容詞: 「～い」
- ・ 動詞: ウ列音で終わる
- ・ 語尾の活用
- ・ 形容詞は名詞の前につく

## ● 違いの大きさ

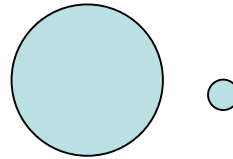
## ● 対比(コントラスト)

# 違いの大きさ・明確さ

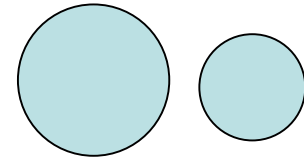
## ● 違いの大きさ

\* 違いの大きな比較

学習が容易



\* 違いの小さな比較

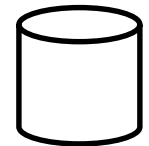


## ● 違いの明確さ

「とうめい」という性質の学習例

「とうめい」なのはどれ？

例示：  
無色透明



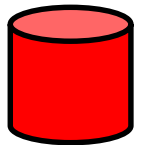
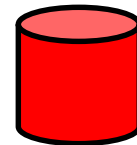
難しい



色つき不透明

色つき透明

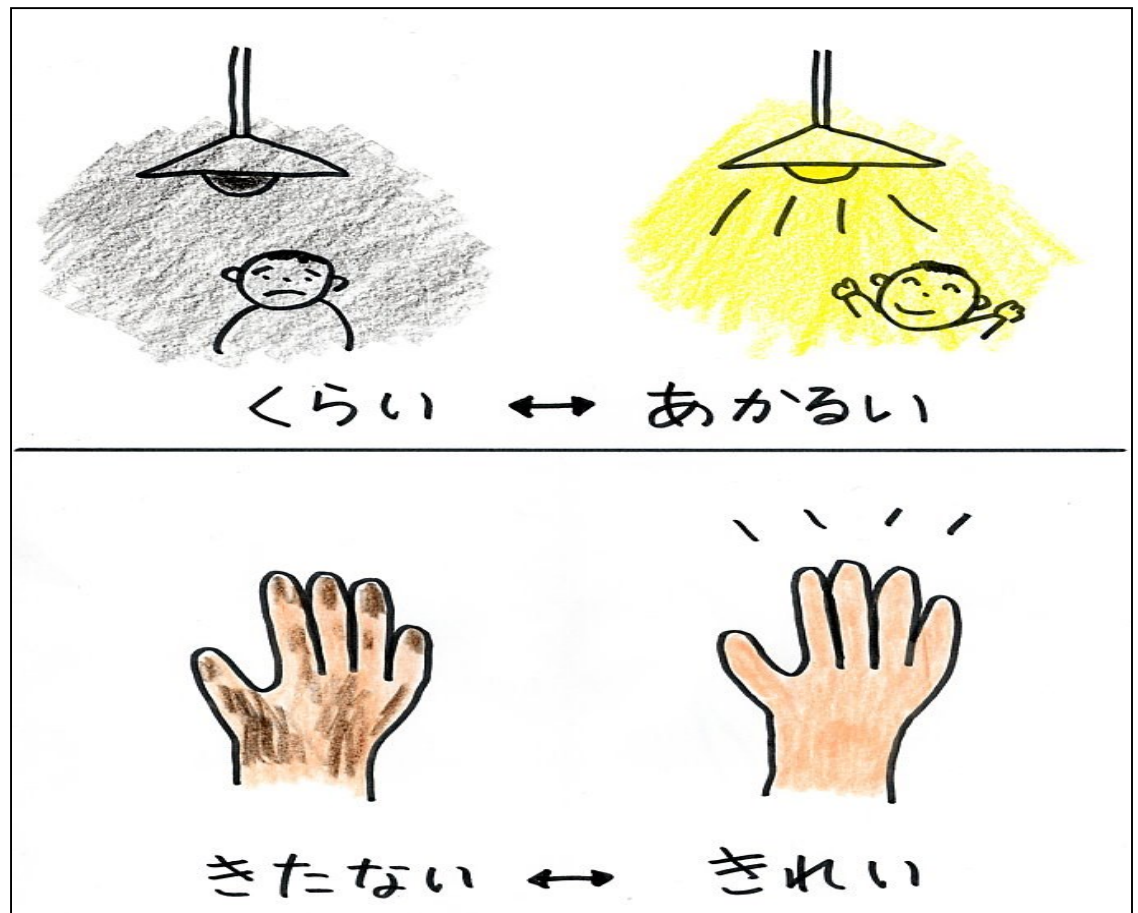
易しい



## ● 対比(コントラスト)

違いの大きなもの・相反するものを、同時に提示する

### 反意語の学習



# 対比を用いた学習の効果について

## ●意味の似た語の同時学習

\* 第2言語習得では効果的ではないとされている

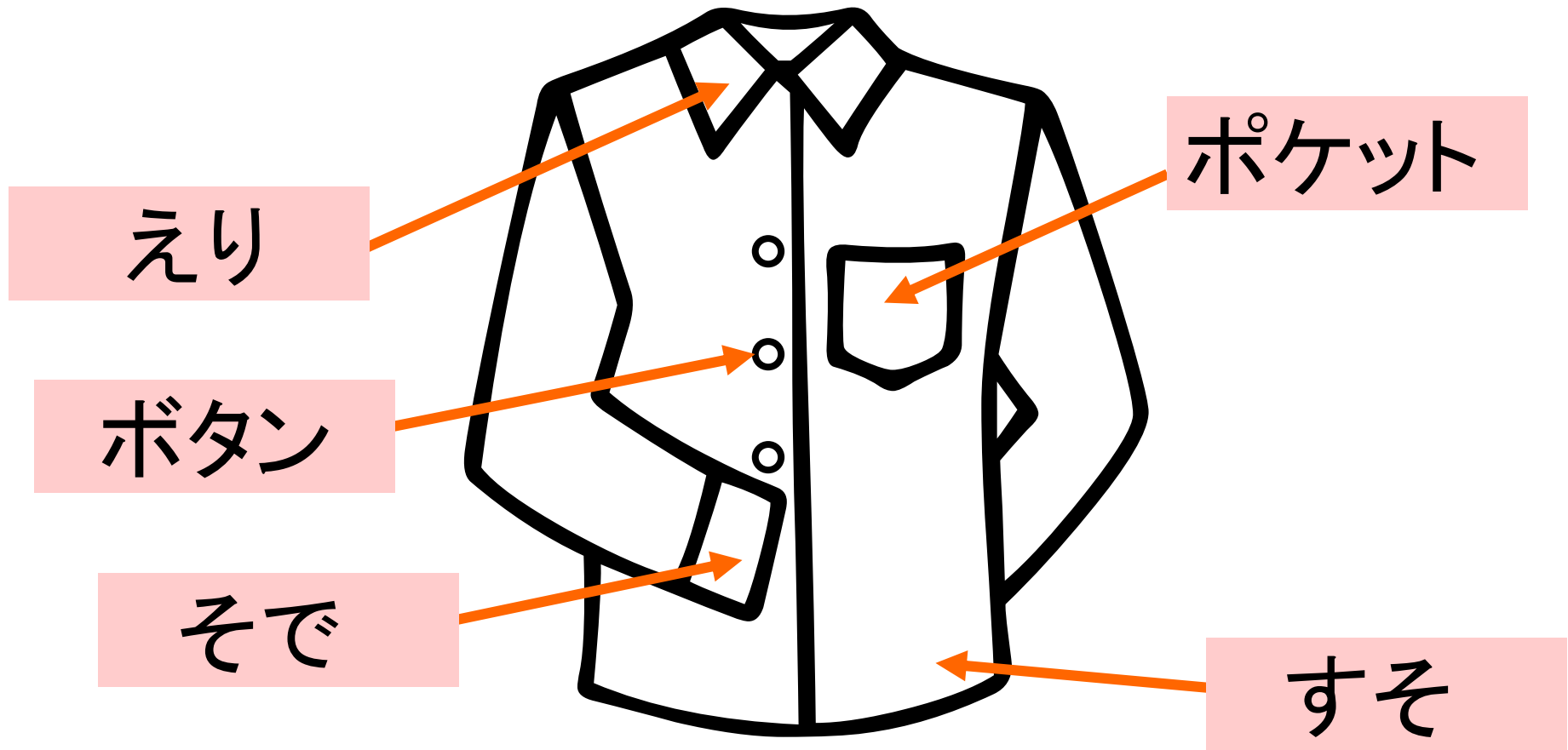
似たことばをいっしょに学ぶのは覚えにくい

→ 語同士が干渉しあい、記憶を妨げるから



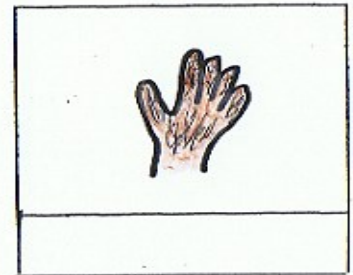
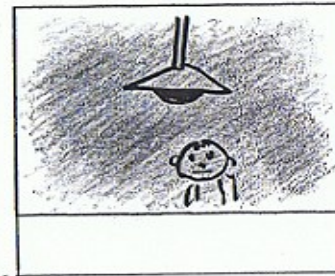
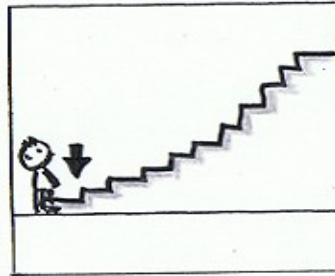
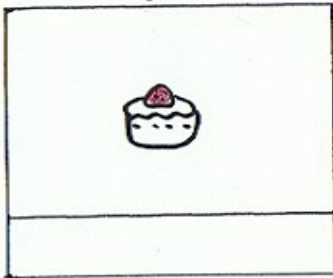
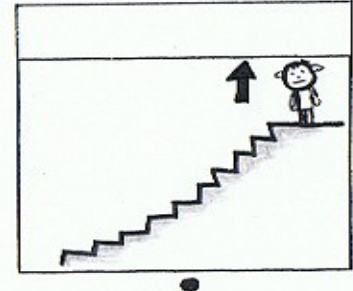
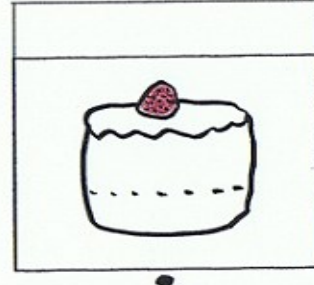
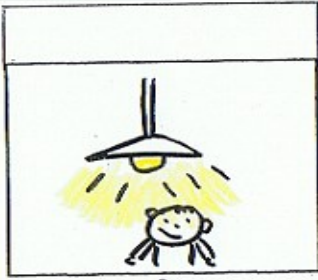
概念の理解のためには必要

# 名称の学習(洋服)



# 反意語の学習

はんたいことば



共通点と相違点の洞察



概念への気づき・明確化

# 反意語における ことばの関係式

明るい = X

暗い → 明るくない = 非 X

・・・と、ばかりは言えない

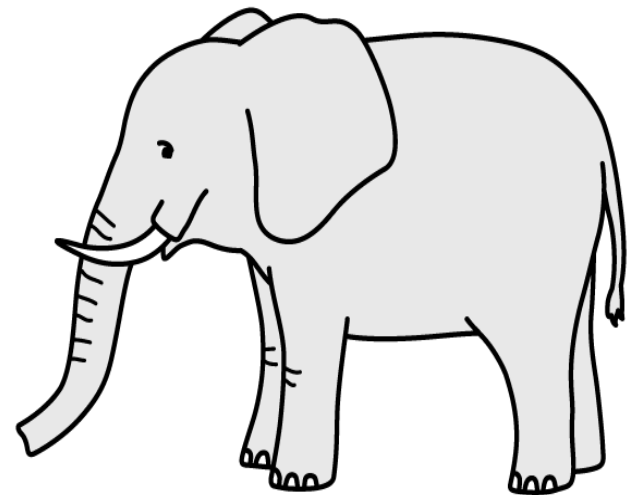
日常の中では、「明るい」と「暗い」が、同時に提示されることは少ない



くらい



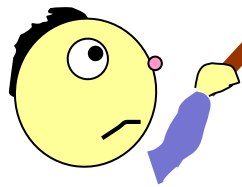
おおきい



日常の中での発見や驚きが  
ことばを支え、運用を促して行く

言語習得におけるムードの大切さ

みじかい...



たらない

ざんねん

A

B

偏った理解が言語習得の出発点



ことばを支え合う タテとヨコ

# シンタグマティック と

# パラディグマティック

## シンタグマティック 統合関係

- \* 語と語の文法的な結びつき

## パラディグマティック 連合関係

- \* 文の中で入れ替え可能な語の集合

**A**

ケーキ

みかん

カレー

魚

アイス

**B**

を

食べる

シンタグマティック

目的語＋動詞

パラディグマティック

食物カテゴリー語

\* AとBの関係性の理解



ことばの精緻化

# 連語関係からの推測

連語：2語以上の語が連結したものの

文

ごはんを たべる

おかあさんが ねる

句

大きい 車

パパの 靴

\* 動詞文＝格助詞で連結

# 100枚プリント 連語練習ワーク



--	--

のる



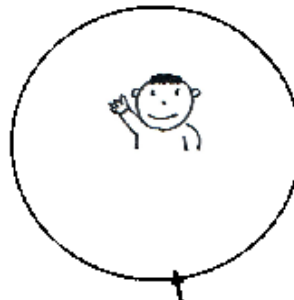
--	--

のる



--	--

のる



--	--

のっているものを、かいてみよう！

# 連語練習ワーク

問題例: ~に乗る

バス

に

のる

名詞:  
乗り物

格助詞:  
移動手段

動詞

連語練習 2

なに(に)のる?

( 月 日)



バス

に

のる



ふね

に

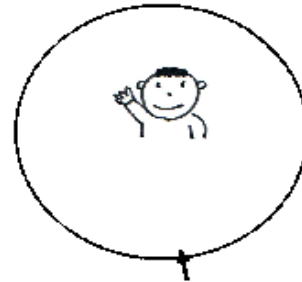
のる



ひこうき

に

のる



のっているものを、かいてみよう!

--	--

# ワークのパターン

●「名詞＋助詞」●最後に文を創作

## 各問題のパターン

～を あらう

～が いる

～に いく

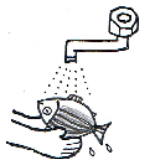
連絡練習 3

なに(を)あらう? (月 日)



--	--

あらう



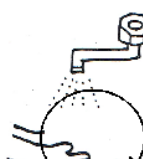
--	--

あらう



--	--

あらう



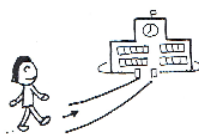
--	--

あらっているものを、かいてみよう!

ことばのテーブル

連絡練習 6

どこ(に)いく? (月 日)



--	--

いく



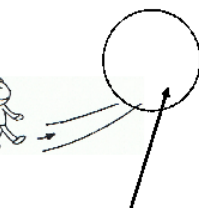
--	--

いく



--	--

いく



--	--

いくところを、かいてみよう!

ことばのテーブル

連絡練習 20

なに(が)いる? (月 日)



--	--

いる



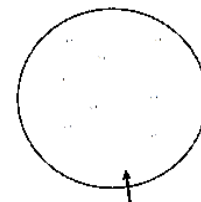
--	--

いる



--	--

いる



--	--

なにがいるか、かいてみよう!

ことばのテーブル

100枚プリント

連語練習ワーク

## 学習目的

- 連語における、語と語の**関係性の洞察**



パターン学習

同じ構造の問題に、繰り返し取り組む

ひとつひとつの単語を覚えさせるのではなく、無意識の内に、語と語の関係性に気づかせる



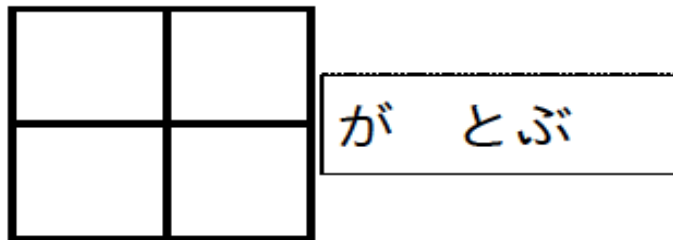
# 連語学習課題

ことばをかえて  
いってみよう

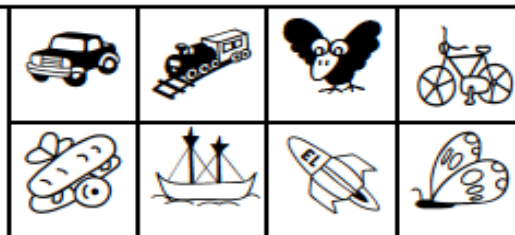
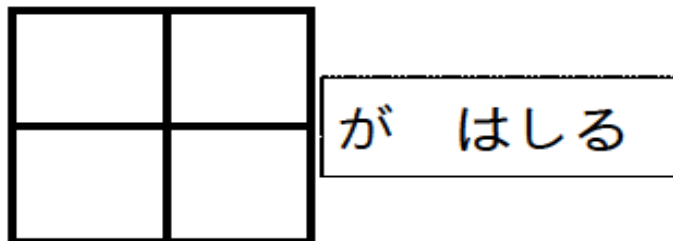
各動詞に対応する  
事物絵を選択  
して貼る

名詞を入れ替え  
ながら文を表現

①



②



連語を用いた  
形容詞の学習課題

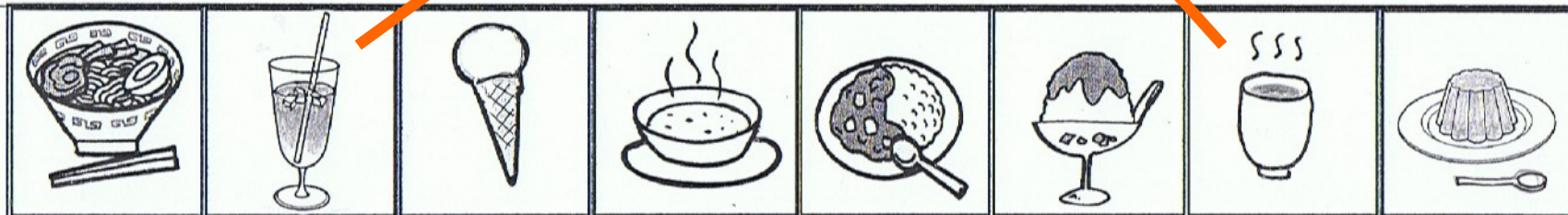
ことばをかえていってみよう  
【熱い／冷たい】

① あつい

--	--	--	--

② つめたい

--	--	--	--



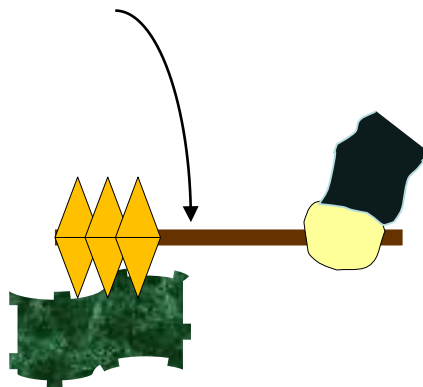
# 助詞がわかることの大切さ

コンロギで切る

→ コンロギは、道具だろう・・・

クヌアに入れる

シナフを飲む






未知の語を事物と同定する

未知の語をイメージする

# 100枚プリント 語彙選択ワーク

判断文ワーク

動詞文ワーク

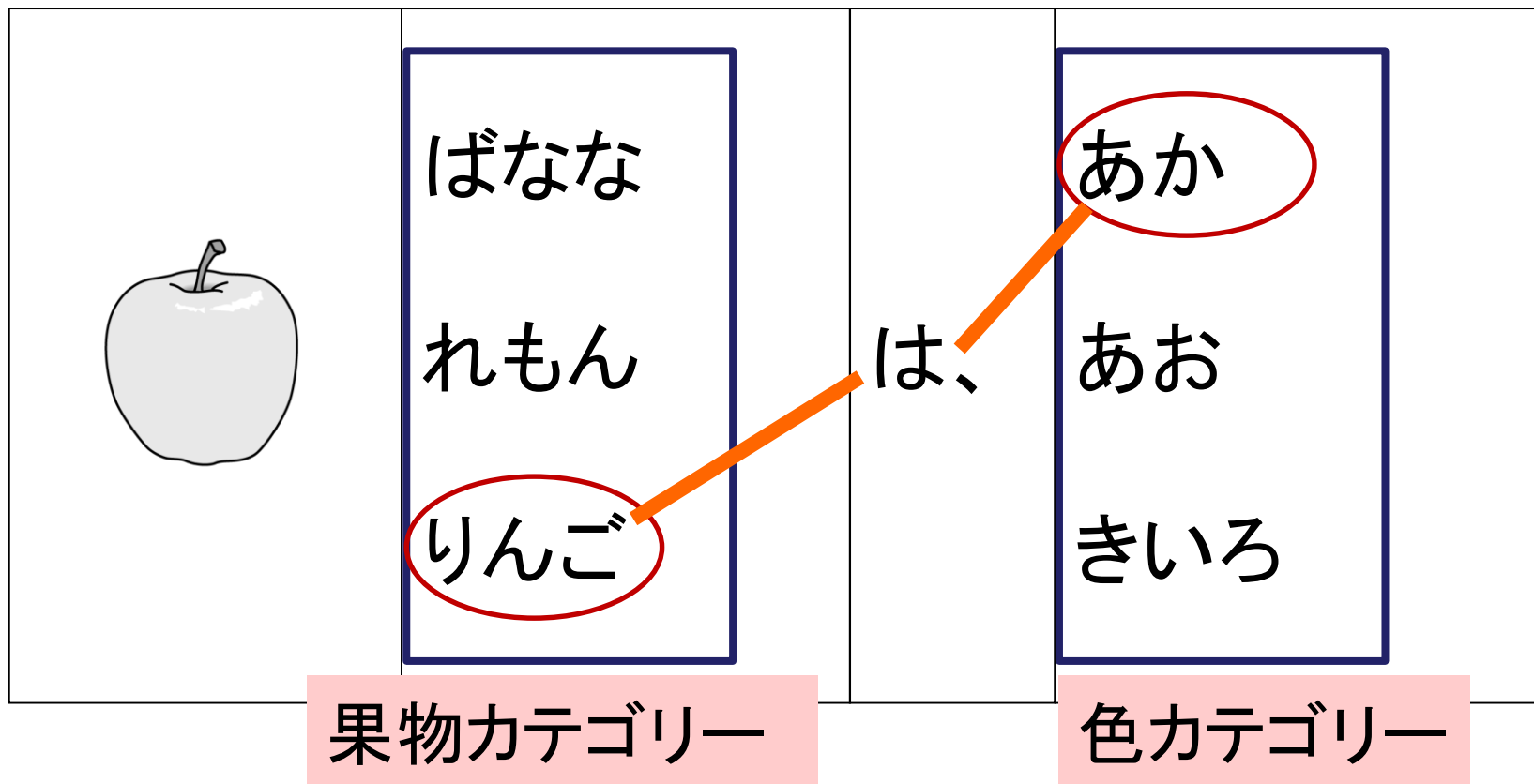
あっていることばに○をつけよう 1 ( 月 日)			
	ねこ	は、	やさい
	さる		どうぶつ
	いぬ		のりもの
	くるま	は、	あるく
	ひこうき		およぐ
	ふね		はしる
	ばなな	は、	あか
	りんご		あお
	れもん		きいろ

# 判断文ワーク

事物A

は、

事物Aの特徴



意味の近接する語に触れる


語彙のネットワーク化図る

# 動詞文ワーク

目的語／動作主

助詞

動作

	<p>ほうちょう のこぎり はさみ</p>	<p>で</p>	<p>やぶく こわす きる</p>
---	-------------------------------	----------	---------------------------

意味の近接する語に触れる



語彙のネットワーク化図る

# 語彙のネットワークと会話

# 語彙のネット(網)が会話を支える

## ことばの連想

- \* 放射的連想
- \* 連鎖的連想

## ことばの位相

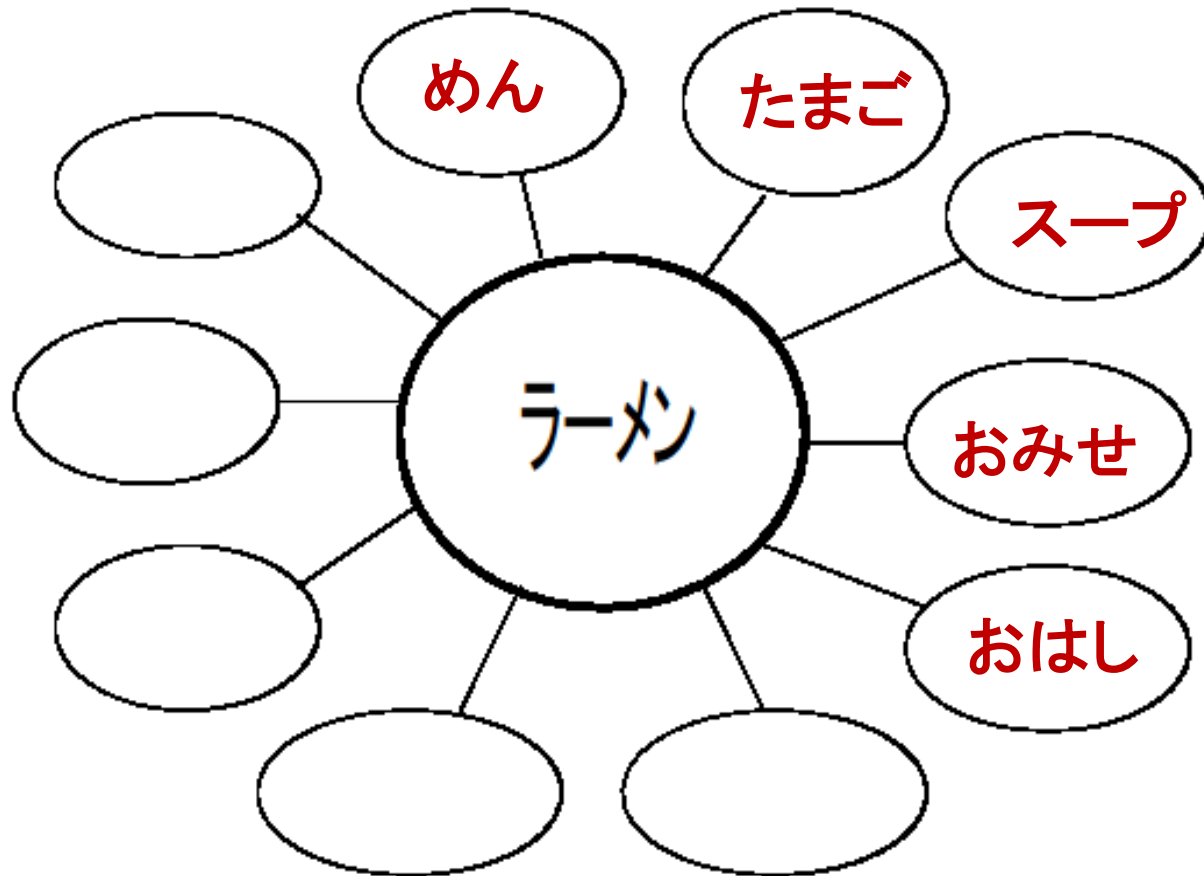
- \* 階層性
- \* 条件性



# ことばの連想

## \* 放射的連想

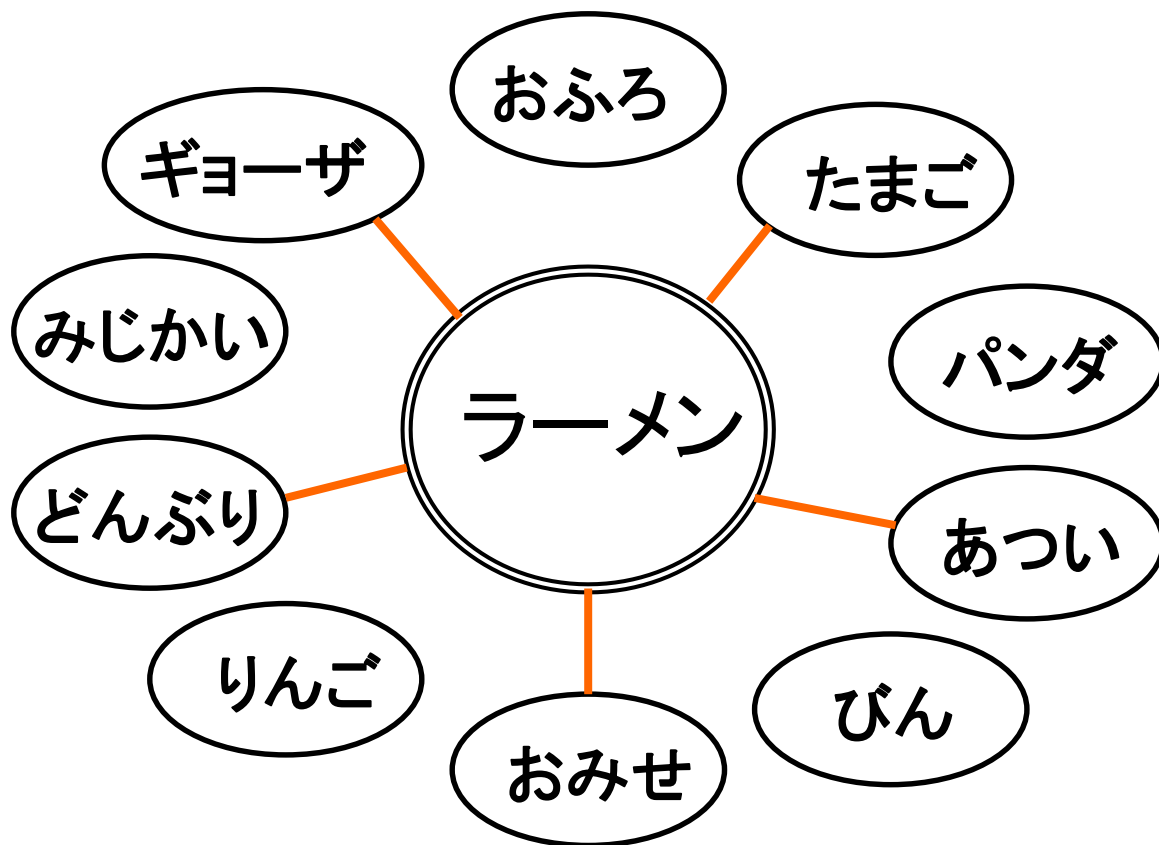
かんけいのあることばを かんがえよう



# 意味の近接

## \* 近接語の選択課題

なかまのことばをさがそう





まちがっているところを なおそう



すべりだい

こども

~~おとな~~が あそぶ

かみで できている

おちる もの

えきにある

ただしごとばに  
なおそう!

こうえん

てつ

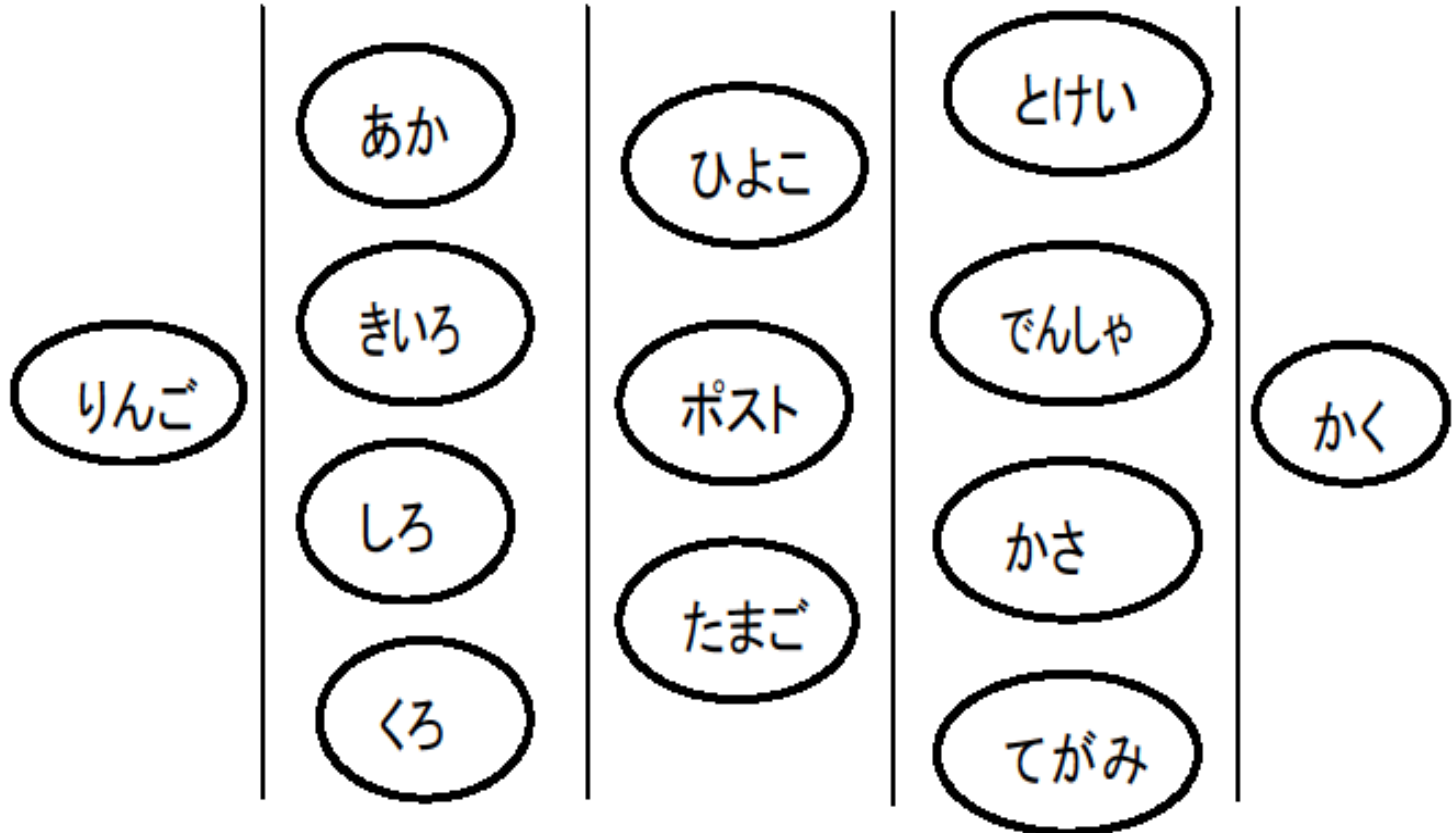
こども

すべる

# ことばの連想

## \* 連鎖的連想

かんけいのあることばを つなげていこう 1



# 質問に答える

きょうのお昼ごはんは何だった？

今日は月曜日だから・・・給食で・・・

給食は・・・スープとか出るけど・・・

あ、みそ汁だ！・・・えーと・・・あと

デザートも出るけど・・・りんごだ

給食に関連  
する事柄の  
連想

記憶の想起は、連想に頼っている部分が大

# おしゃべりをする

今日、給食、カレーだったよ。あ、カレーで思い出したけど、ニンジンって、とっても栄養があるんだって。「生活」のとき、先生が言ってた。「生活」って、面白いときと、面白くないときがあるなあ……

ことばとことばが連鎖して、おしゃべりが続く

## ことばの位相

### \* 階層性 $< X <$ の関係

ゾウやサルがいたよ

動物園いったな

ケーキだったよ

チョコかなイチゴかな

### \* 条件性 $X \neq$ の関係

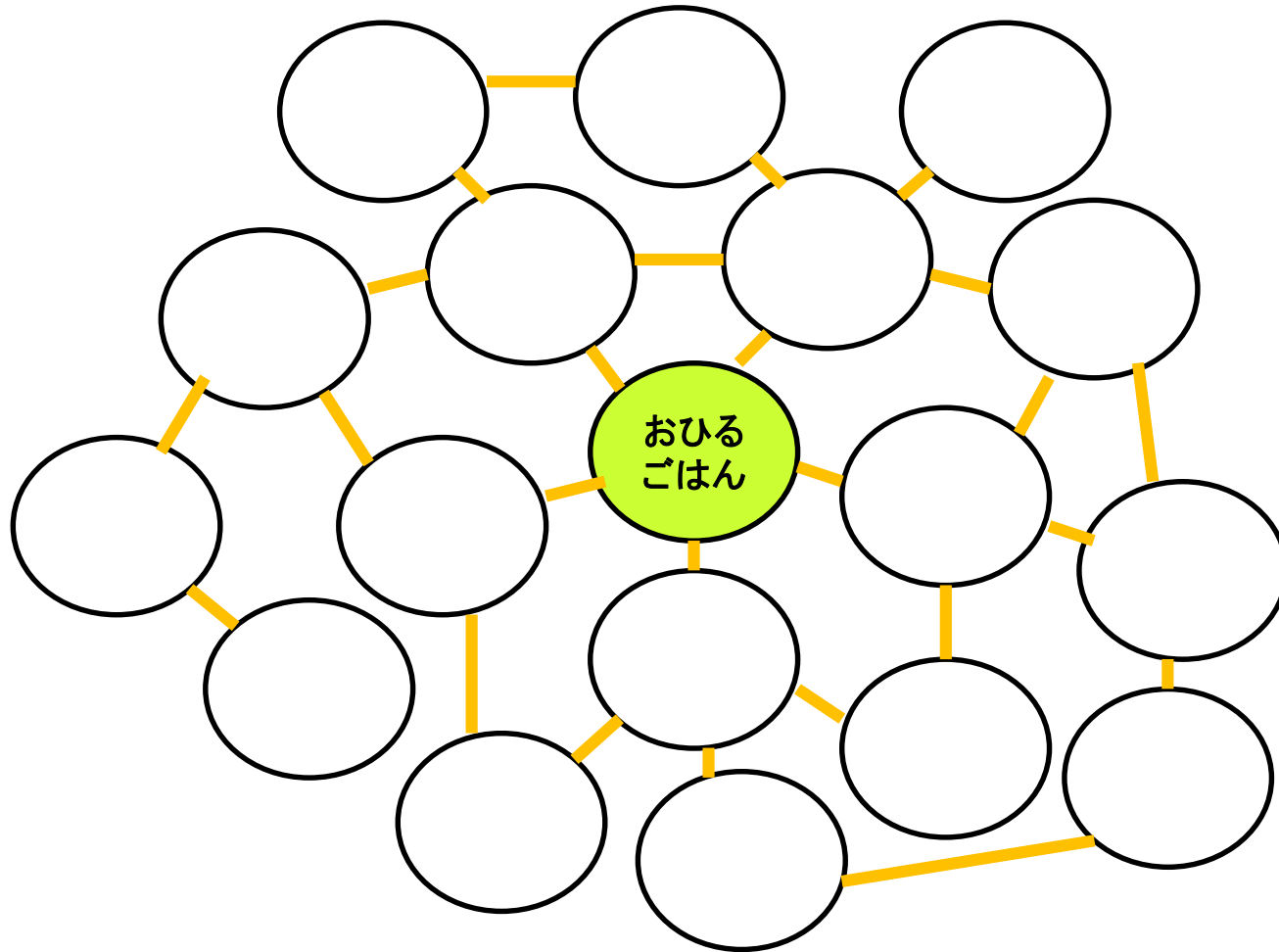
女の子だったよ

けん君じゃないな



情報からの類推により会話が進行

# 語彙のネットワーク



ことばとことばの関係が  
コミュニケーションを支える



日常のコミュニケーションの中で

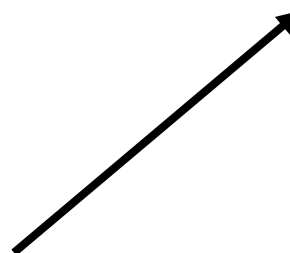
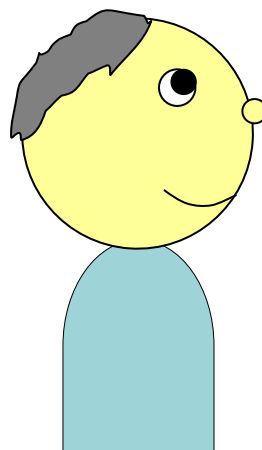
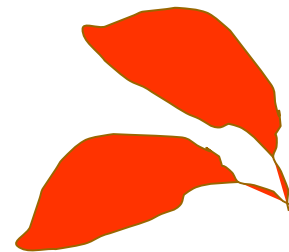
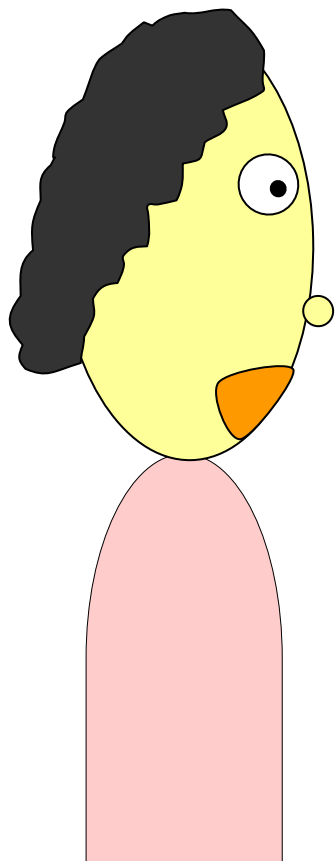
「きれい」や「はやい」や「まわる」や  
「つつく」は、どんなときに言うか？

状況を言語化するとき



共感のコミュニケーション

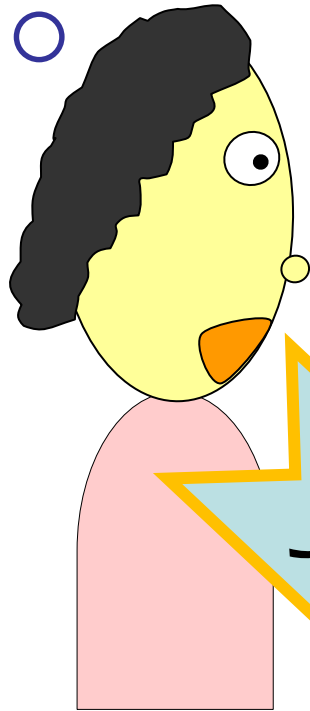
はっぱ、  
あかいねー



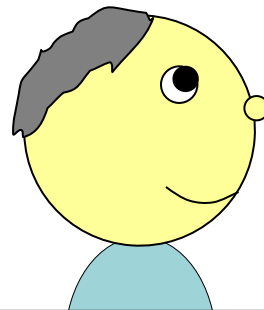
なぜ、ことばにするのか？

あかい…

はっぱ、  
あかいねー



共感の  
メッセージ



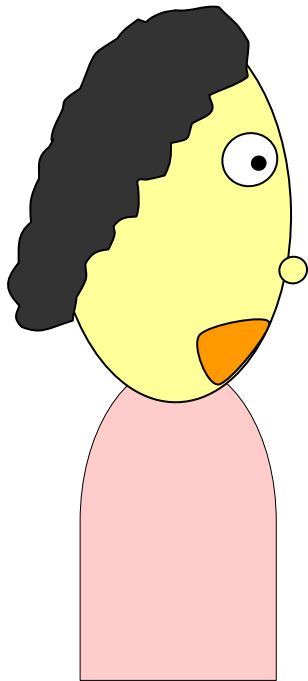
あかい…

心あるもの

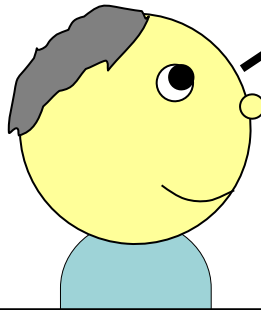
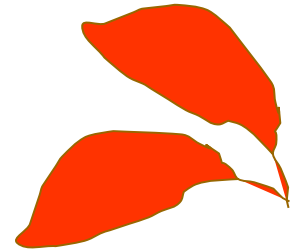
自分と相手の心の重ね合い

●相手の心の状況を、ことばにする

# 共感のコミュニケーションに気づく



はっぱ、  
あかいねー



心の動きの言語化

自分の心に気づいて行く

共感のコミュニケーション  
に対する意欲



心の状況の言語化に対する意欲



語彙習得を促すもの

見えたもの、聞こえたもの・・・  
感じたことをことばにしよう！

## 【参考・引用図書】

- 「こどもの認知発達」新曜社
- 「レキシコンの構築」大修館書店
- 「階層的カテゴリーの機能とその発達」北大路書房
- 「ことばをつくる」慶応義塾大学出版
- 「幼児期」岩波新書
- 「日本語の文法」ひつじ書房
- 「はじめての日本語教育」アスク講談社
- 「心の生得性」共立出版
- 「子どもたちの言語獲得」大修館書店
- 「ことばの発達と障害」大修館書店



## 【参考文献】

- 『認知意味論と第2言語習得』信州大学教養学部紀要 23号
- 『カテゴリーの研究』名古屋大学教育学部紀要 27号